

【技術資料】ピュアクリートのすべり抵抗係数(C. S. R 値)

試験方法：NNK-003 塗り床のすべり試験方法

試験機：携帯型すべり試験機 ONO-PPSM



写真 1. 試験機



写真 2. すべり片(ゴムシート)

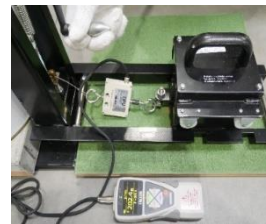


写真 3. 試験風景

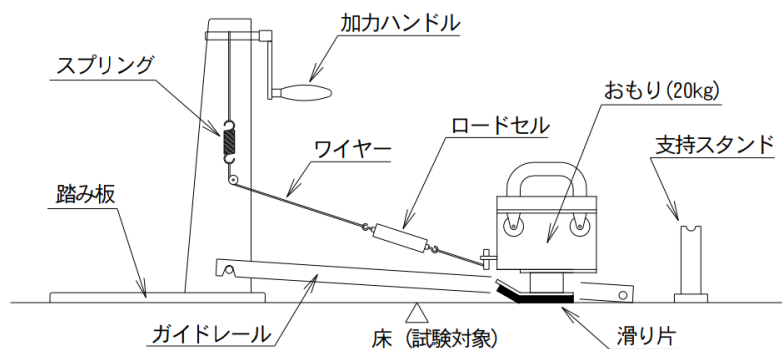


図2 携帯型床の滑り試験機の主な構成

《測定原理》

床面と接触する面積が 30cm² の滑り片(靴用硬質ゴム使用)に、20kg の荷重をかけて斜め上に引っ張り、すべり抵抗係数を測定する。

試験機概要図：<https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/dayori/1111/1111-1.pdf>

試験体：ピュアクリートSL、
ピュアクリートSL光沢
ピュアクリートHF
ピュアクリートMN
ピュアクリートSG/MG/HG

試験体表面状態：乾燥面

湿潤面(水散布)

埃面(関東ローム粉体散布)

油潤面(なたね油散布)

評価区分：

防滑区分	すべり抵抗係数 C. S. R	すべりの程度
A	1.0 以上	極めてすべらない
	1.0 未満~0.8 以上	かなりすべらない
B	0.8 未満~0.6 以上	あまりすべらない
	0.6 未満~0.4 以上	すこしすべる
C	0.4 未満~0.2 以上	かなりすべる
	0.2 未満	極めてすべる

試験結果：

工法・材料	特記事項	すべり抵抗係数 C. S. R 測定値			
		乾燥面	湿潤面	埃面	油潤面
ピュアクリートSL	—	B 0.57	B 0.55	B 0.40	B 0.42
ピュアクリートSL光沢	—	B 0.44	C 0.38	C 0.33	C 0.27
ピュアクリートHF	金鍍	B 0.77	B 0.74	B 0.72	B 0.42
	ローラー1 往復	B 0.67	B 0.64	B 0.63	C 0.38
	ローラー2 往復	B 0.64	B 0.60	B 0.62	B 0.41
	ローラー10 往復	B 0.55	B 0.55	B 0.51	C 0.35
ピュアクリートMN	金鍍	B 0.78	B 0.73	B 0.71	B 0.53
	ローラー1 往復	B 0.61	B 0.60	B 0.58	C 0.34
	ローラー2 往復	B 0.59	B 0.53	B 0.58	C 0.33
	ローラー10 往復	B 0.54	B 0.55	B 0.46	C 0.33
ピュアクリートSG/MG/HG	—	B 0.73	B 0.65	B 0.68	B 0.51

(注意)

- ・現場で塗り付けする製品の特性上、鍍やローラーの当たり方ですべり抵抗係数に変化が生じる可能性があります。
- ・測定値は一定の試験条件で実施した平均値です。温度・湿度、試験機の器差等で実際の現場測定の数値と差が生じる場合があります。
- ・実際の滑りやすさは履物の種類で大きく差が生じます。耐油性のすべり難い履物を使用することでC. S. R 値の低い条件でも対応できる場合があります。